

**製品名: ACSS1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06537**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	75kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ACSS1 ACAS2L KIAA1846
別名	ACSS1 ACAS2L KIAA1846
遺伝子 ID	84532.0
SwissProt ID	Q9NUB1
免疫原	アミノ酸配列範囲 620-689 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

**背景**

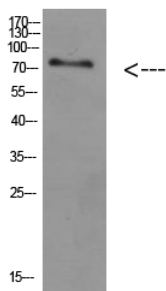
この遺伝子はミトコンドリアのアセチル CoA 合成酵素をコードする。マウスの類似タンパク質は、酢酸からアセチル CoA への変換を触媒することで、トリカルボン酸回路において重要な役割を果たしている。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選

拵的スプライシング転写バリエントが観察されている。[RefSeq 提供、2011 年 11 月],触媒活性:  $\text{ATP} + \text{酢酸} + \text{CoA} = \text{AMP} + \text{ニリン酸} + \text{アセチル CoA}$ .,機能: 酢酸をアセチル CoA に変換し、トリカルボン酸回路を通じた酸化反応に利用して ATP と  $\text{CO}_2$  を生成する。配列注意: 配列エラー。類似性: ATP 依存性 AMP 結合酵素ファミリーに属する。 ,

## 研究分野

解糖系/糖新生;ピルビン酸代謝;プロパン酸代謝;

## 画像データ



800 倍希釈の抗体を用いた HEPG2 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 倍希釈した。